

# 女子中学生ソフト県選抜

## 岩手遠征の成果語る

### 県庁訪問

県選抜チームを母体に県内女子中学生有志で結成したソフトボー

6人の死亡を確認したという。熊谷准教授はインクを洗う有機溶剤が原因との見方を示し、「法的規制がない化学物質でも健康被害があれば、事業者が責任を負うことを明確化すべきだ」と訴えた。この日は、県立天の研究者もホルムアルデヒドやベンゼンなど室内汚染物質の採取・分析方法について発表した。学会は30日まで。



安倍教育長(右端)に被災地での交流活動を報告した生徒(県庁)

ルチームの生徒16人が教育長を訪ね、岩手県29日、県庁に安倍徹県の中学生と10月に行っ

た交流試合の感想を語った。

学生スポーツ交流団

として2011年度ま

では中国を訪問してい

たが、日中関係悪化な

どの理由で被災地訪問

に変更。10月6～8日

に岩手県花巻市と大槌

町を訪れ、同県の中学

生と対戦した。

交流会ではチームの

枠を超え、現地の中学

生に被災体験を聞いた。

主将の外岡雅さん

(町清水南中3年)は

「普通の生活や、仲間

とソフトボールがで

きる幸せを感じた」と

振り返り、安倍教育長

は「被災地の人との縁

を大切に、毎日を大

切に生きてほしい」

とメッセージを伝え